

厚生労働大臣表彰



杉山 豊久さん受賞

杉山豊久さん(奈良町)が平成21年度厚生労働大臣表彰を受賞され、広江町長から伝達されました。

杉山さんは、昭和53年から内科医として地域医療に努められるとともに町の健診にも尽力され、住民の公衆衛生の向上に多大な貢献をされました。

廃棄物減量等推進員

リサイクル工場を視察



ペットボトルのリサイクルについて説明を聞く廃棄物減量等推進員

2月17日、廃棄物減量等推進員など36人の皆さんが、岐阜市内のペットボトルやガラスの関係の工場と、輪之内町内のプラスチック関係のリサイクル工場を視察しました。この視察は、町内で分別回収された資源ごみが、どこでどのような形でリサイクルされているかなどの様子を研修するために計画しました。

今回の視察研修でゴミを分別することにより、ゴミが再利用でき、資源として有効に活用できることが学べ、分別の大切さがより実感できたのではないのでしょうか。

廃棄物減量等推進員や町内会長さんなどには、今回の視察研修で学ばれたことを地域の皆さんにお伝えいただき、今後のごみ減量やリサイクルに役立てていただきたいと思います。

笠松通を目指して161人が受検

笠松力検定(初級)

初めての笠松力検定が、2月21日笠松中央公民館で行われました。

受検者は、小学生から84歳の方まで各世代に渡り、町内在住の方以外にも岐阜市・羽島市・岐南町・各務原市・名古屋市などから161人が、笠松通を目指して笠松の自然や文化、歴史などの分野から出題された検定問題50問にチャレンジしました。

その結果、70点以上を獲得した141人が合格し、合格率は87.6%でした。

受検された町内の男性は、「今までは仕事だけで、地域の関わりがなかったが、定年後これからは地域の関わりを持つためにも、笠松のことを知ろうと笠松力検定に挑戦しました。笠松力検定テキストには、

自分の知らないことが、半分ぐらいあり、勉強になりました」と話されました。



緊張感漂う会場で、検定開始を待つ受検者